

【課題番号】 4-1705

【研究課題名】

湿地の多面的価値評価軸の開発と広域評価に向けた情報基盤形成

研究の全体概要

湿地の生物多様性の損失は 21 世紀に入ってもなお進行しており、大きな社会的損失を招いている。本研究では、重要な湿地を緊急かつ効果的に保全・再生するための科学的基盤を実践的に構築する。

自然再生を効果的に進める上では、広域的な湿地の分布と生物多様性のデータを活用し、優先順位を考慮して計画を立案する必要がある。本研究では既存データと現地調査の結果を統合し、全国の湿地の植物・植生情報を網羅した GIS データベースを作成する。

さらに本研究では、湿地の多面的な機能や生態系サービスを評価する手法を開発する。関東平野のモデル地域において、農業生産、水質浄化機能、湖沼での漁業等の生態系サービスを評価し、相互関係を分析する。

湿地生態系の現状把握や自然再生の評価では、効果的・効率的なモニタリングが不可欠である。本研究では市民参加による湿地生態系モニタリング手法を開発する。市民参加型調査には、科学的知見の普及といった長所が期待できる一方、精度の管理等の課題がある。本研究では博物館と連携することにより、実践的に調査手法を改善する。

作成した湿地データベースや保全上重要な種の分布予測情報を活用し、具体的な保全・再生策の提案を行う。同時に、湿地生態系の多面的な機能・サービスの評価を行い、関係者で共有する方法を検討する。以上の結果に基づき、国内外の政策課題に答える情報・提言をとりまとめる。

背景

- 現状**
- 湿地の生物多様性の損失
 - 生態系サービスの低下
 - 自然再生の機運

- ニーズ**
- IPBES地域アセスメント
 - 次期戦略目標
 - 重要湿地選定 など

➡ **課題** 湿地の多面的な価値評価手法の確立
国土スケールでの評価に向けた情報基盤整備

研究

サブテーマ1 (東邦大)
湿地保全・再生のための多面的価値評価軸の開発



⇒ 湿地の保全・再生の意義の多面的評価

サブテーマ3 (北海道大)
全国規模の湿地・植生データベースの作成



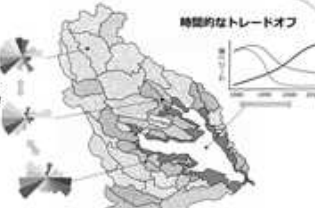
⇒ 全国湿地GISデータベース

基盤情報

調査手法

生態系サービス

サブテーマ2 (国立環境研)
モデル流域における湿地の生態系機能・サービス評価



⇒ 生態系サービスのシナジーのための提案

サブテーマ4 (新潟大)
効果的な湿地モニタリング手法の開発



⇒ 多面的評価に有効な調査手法
水生・湿生植物データベース

成果

- 多面的価値を活かした合意形成ツール
- 湿地の保全と再生の科学的根拠
- 長期モニタリング・多面的評価



- 湿地の生物多様性保全・生態系修復の推進
- IPBES地域アセスメントへの寄与
- 愛知目標の到達度評価への寄与
- 生物多様性国家戦略・次期戦略への寄与